

きょうと 京図ものがたり

京都市図書館情報誌

vol.9

平成17年4月発行

時を超え美しく
ひと輝く 歴史都市・京都

夢ふくらむ図書館に



特集 こんなに使える!
お得な図書館

目次

- ② インタビュー
京都市生涯学習振興財団理事長 上田正昭先生
京都大学名誉教授
読書環境の充実を
- ③ 図書館小特集
「子ども読書の日」記念事業
- ④ 特集
こんなに使える! お得な図書館
- ⑥ 京都市図書館紹介
右京図書館、醍醐図書館

- ⑥ 図書館コラム
住んでみたいまち“京都”
- ⑦ お知らせ
みんなで考える新しい図書館づくり
下京図書館で「読み聞かせ講座」
図書特別整理が終了
- ⑧ 利用者の声
テーマ:「新入生・新社会人にお勧めの一冊」
- ⑧ 編集後記
図書館へ行こう

読書環境の充実を

京都市生涯学習振興財団理事長、京都大学名誉教授である上田正昭先生に、本との出会いや今後の公共図書館のあり方について語っていただきました。

京都市生涯学習振興財団理事長
京都大学名誉教授

上田正昭先生



本との出会いの大切さ

私にとつての本との出会いといえば、少年倶楽部や日本昔話、立志伝になります。でも最初に強く影響を受けたのは、津田左右吉先生の古事記、日本書紀に関する著作です。昭和二年当時、発禁処分になっていたこれらの著作を、中学二年だった私があるきっかけで読むことができたのです。そこに書かれていたことは学校で習う歴史とまったく違っていました。そして、真実の探求とはこういうものなのだということを教えられ、また学問を志すきっかけになりました。

津田先生の本に出会っていなければ今の私はなかったかもしれません。やはり書物の影響は大きいし、また良い書物との出会いの大切さを感じます。

現代の読書環境について

私が大学生の頃は休みの日になるとリュックサックを背負って古本屋を渡り歩いたものです。当時は食糧難だったので亀岡の実家からお米を送ってもらって本と交換して入手したりしました。何といつても、古本屋は市販していない本を手に入るには最高の場所でした。残念なことに、最近では次々と古本屋がつぶれていきますね。近頃の学生は古本屋に行かなくなりましたからね。

一般的に現代の若者は本を読まなくなつたといわれています。テレビの影響が大きいと思います。が、読み手の側の責任だけではないと思います。書き手の側にも責任があるのではないのでしょうか。

時代に迎合した本が多く、胸がわくわくするような本が少なくなりました。良い本が必ずしも売れるわけではないので、出版社が時流に乗った本だけを出版し続けると、良書は駆逐されてしまいます。不況のせいでも、どうしても売れる本を大量に出版するということは仕方のないかもしれませんが、この状況は何とかしなければいけないね。

これからの公共図書館のあり方

小さい頃から本を読む習慣を身につけておくことは、非常に大切なことだと思いますが、学校での授業は教科書が主体で、ややもすれば本は補助的なものとして扱われがちです。最近では、朝読書などが行われているようですね。学校図書館の役割は大切でその充実も必要ですが、学校だけでは限界があり、幅広い蔵書構成をしている地域の公共図書館が連携を深めて協力していく必要があります。

また、公共図書館は生涯学習の中核的存在でなければならぬと思います。生涯学習といいますが、一般的に社会教育を拡充すればよいと捉えがちですが、私は家庭教育・学校教育・社会教育が相互に関係しあいながら展開すべきものだと思います。現在この3つの教育は別のものであると考えられています。これらは総合されなければなりません。その役割を公共図書館が担っていければと思っています。さらに、本を読むのが楽しくなる雰囲気作りをして、公共図書館がサロンのような読者の語り合いの場になるようにですね。

「子ども読書の日」 記念事業



4月23日は「子ども読書の日」

日時・場所、
内容の詳細は、
チラシや
ホームページで
お知らせします。

平成13年に制定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」において、4月23日が「子ども読書の日」と定められました。京都市図書館では、「子ども読書の日」を記念して、4月23日から29日までの間、各館で様々なイベントを開催します。

本のもり

.....
子どもに読んでもらいたい本を年代別に選定したブックリスト「本のもり」。この「本のもり」に掲載されている本の実物を展示します。どうぞ手に取ってご覧ください。



講演会

.....
専門家を招いて、子どもの読書についての講演会を開催します。どなたでも参加いただけます。



絵本の原画展

.....
絵本『せかいいちつくしいぼくの村』で、産経児童出版文化賞を受賞した小林豊さんの原画を展示します。

「読書えはがき」展

.....
読書の感動を絵や文で表現した「読書えはがき」。市内一円の保育園、幼稚園、小・中・総合養護学校から募集した「読書えはがき」を展示します。



お楽しみ会など

.....
読み聞かせや紙芝居、お楽しみ会などの楽しい行事を、子ども文庫、PTA、小・中学生などの協力のもと、各館で行います。



Q 本を借りるのはタダですか？

A 無料です。まず図書館カードを作ってください。



Q 0歳の赤ちゃんでもカードを作れますか？

A はい。京都市に在住またはお勤め先・学校のある方ならどなたでも作ることができます。(中学生以上については確認書類が必要です。)

Q 土日祝日や夜間も開いていますか？

A 土日祝日は全館10時～17時まで開館しています。また、夜間開館の実施館も毎年、増やしています。お勤め帰りにもご利用ください。



Q 小説以外の本もありますか？

A 図書館には旅行のガイドブックや料理・裁縫の本、パソコンのマニュアルや冠婚葬祭に関する本など日頃の生活に役立つ本がたくさんあります。京都に関する本も揃えています。また、雑誌も映画の雑誌や育児雑誌など色々置いています。

Q うちの近くに図書館はありますか？

A 京都市図書館は市内に20館あります。各行政区に1つ以上はありますが、近くの図書館の場所がわからなければ、中央図書館(☎802-3133)にお問合せください。

【特集】

こんなに使える！



Q 本を探すにはどうしたらいいですか？

A 各図書館ではOPAC* (オーパック・図書検索機)、ご自宅からもインターネットの京都市図書館ホームページ (<http://www.kyotocitylib.jp/>) から調べることができます。図書館にお越しの際は、カウンターの職員にお気軽にお尋ねください。

*OPAC Online Public Access Catalogの略



Q 図書館が閉まっても本を返せますか？

A 各館に返却ポストがありますので、そこに入れていただければ返却できます。

Q 「レファレンスサービス」ってなんですか？

A 図書館職員が調べもののお手伝いをすることです。

「〇〇に関する本を探したいが、どの棚をみればいいですか。」
「以前読んだ本で書名が正確にわからないのだが、探してもらえますか。」
「赤ちゃんの名前を付けるのに参考になる本はないですか。」
「〇〇小学校の校歌を知りたい」
「エッセイの書き方を教えてほしい」

日常のちょっとした疑問や、お仕事に役立つ情報など、さまざまな問い合せに、図書館の資料を使って出来る限りお調べします。もちろん無料です。なお、学校の宿題や懸賞のクイズの答え、特定の個人の不利益になる質問、医療・法律相談等の個々専門的な質問、美術品の鑑定などにはお答えできません。

Q 他の館に本を返してもいいですか？

A 京都市立図書館でしたらどちらでもかまいません。ただしCDやビデオは壊れやすいので借りた館にお返しください。

Q 読みたい本が書架に見つからないときはどうしたらいいですか？

A 他の図書館にある場合は、数日で取寄せられます。貸出中の場合には予約ができます。また、京都市全館で所蔵していない場合には、京都市以外の図書館から取り寄せたり、購入を検討したりします。



右京図書館

■緑ゆたかな中庭

右京図書館の自慢の一つに広い中庭があります。中庭の中央には藤棚が設けられ、大きなクスノキが木陰をつくっています。周りに植えられたモチノキ、サクラ、サンシュユ、ニッケイなどが四季折々に花や実をつけます。花の蜜を吸いに蝶たちが集まり、実を求めて小鳥たちもやってきます。



■映画の町・太秦

右京図書館のある太秦といえば、映画の町です。図書館の道向かいには東映太秦映画村。その隣は東映太秦撮影所です。時折、図書館の施設を使ってテレビドラマの撮影が行われたりもします。あなたがテレビで見たあの図書館のシーンは、ひょっとしたら右京図書館で撮影されたものかもしれません。

こうした地域の特徴を生かすため、

右京図書館では映画コーナーを設けています。映画関連の蔵書約一、〇〇〇冊の他、約三〇〇冊の映画パンフレットを描いています。古い映画のパンフレットを眺めていると、実際に劇場で観たことのない映画でも、何か懐かしい感じがします（思い出のある映画ならなおさらですね）。映画パンフレットの貸出はしていませんが、自由に手にとって見ていただけます。自由になんてちょっと鬚を結った浪人や、かんざしを挿した町娘が書架の間を歩き来ている。そんな図書館になったら楽しいですね。

■多彩な催し

毎週月曜日午前二時から「絵本の会」を催しています。この会では乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせと紙芝居を実施しています。最近では、参加者に赤ちゃんを抱いたお母さんの姿が多く見られます。同じような年代のお母さん方が集まるので、子育ての情報交換の場ともなっているようです。

毎月第3木曜日午後3時30分からは「おたのしみ会」です。大型紙芝居とミニ映画、ボランテニアの皆さんによる楽しい催しを実施しています。色々な催しに対応できるよう、絵本コーナーの天井には大きな映画スクリーンが、窓には暗幕が用意されています。

その他にも、子供読書の日記念のイベント、毎月テーマを決めての特設展示など、皆さんの参加をお待ちしています。

ます。

■ホームページで情報発信

右京図書館のホームページでは、常に最新の情報を発信しています。「新着図書」「予約の多い本」は毎週、「新着雑誌」は最新号が出る度に更新しています。その他、付近停留所の時刻表や利用案内など有用な情報を掲載しています。「今日は休館日かな」と思ったら、まずはアクセスしてみてください。アドレス
<http://www.kyotocitylib.jp/ukyo/>

■準備が進む右京中央図書館（仮称）

右京図書館は移転・拡充することが決まっております。平成19年度オープンを目指して着々と準備が進んでいます。右京図書館の建物は、図書館となる前に郵便局として使われていました。図書館として3年、その前に郵便局として16年、改装期間等4年を含めると、合計23年経っており、かなり老朽化してきています。

移転先は、地下鉄東西線の二条駅から天神川までの西伸に伴い、新たに設置される天神川駅（仮称）の市街地再開発施設内です。移転により、床面積約三、〇〇〇㎡、蔵書冊数約三〇万冊の京都市図書館では最も大きな図書館となります。所蔵資料も本ばかりでなく、CDやDVDといった視聴覚資料も取り揃えます。

新しい図書館に期待を膨らませつつ、皆様のご来館をお待ちしています。

図書館
コラム
⑧住んで
みたいまち
“京都”「住
台」

これは時事通信社が全国の有識者705人を対象に行った調査で、それぞれ県庁所在地の市とそれ以外の政令市計49市の中から「現在地以外で住みたい都市」を3つ挙げてもらった結果だそうです。

ちなみにトップの京都市が9.6%、続いて静岡7.8%、仙台7.2%、東京（23区）6.6%と続きます。なおも喜ばしいことに、1〜3位のいずれかに京都を挙げた人は全回答者の25.3%で最多であるということです。つまり4人に1人が京都に住みたいと回答されたわけです。

選んだ基準としては「温暖な気候」「自然環境（のよさ）」が多く、「利便性」よりも恵まれた自然環境を優先する傾向が強かったそうです。いずれにせよ、多数の人が居住地を選択するに当たって、「都市機能」よりも「自然環境」を重視したことを知って、何となく心が和む気がします。

そんな中で京都がトップに選ばれたのは、やはりこの地が持つ独特のブランド・イメージが人々の心の中に定着しているのだらうということは想像できます。

そういう意味では、京都とは、そこに住んでいる人たちだけのものではなく、この国に住む人々の様々な思い入れが投影される対象であるようにも思えてきます。そうした京都を愛する多くの人たちの思いを十分受けとめて、私たちは山紫水明の自然的景観と、京町家と社寺仏閣が織り成す歴史的町並み景観とを調和させ、加えて伝統に基づ

醍醐図書館

山科の 石田の杜に 幣置かば

けだし吾妹に 直に逢はむかも

『万葉集』巻九（二七三一巻）藤原宇合卿

■クラシカル・ライブラリ

「図書館」というとどのようなイメージを抱かれるでしょうか。少し年配の方なら、「静か」で「広」くて「時間がゆったりと流れる」ところ、とイメージなさるのではないでしょうか。醍醐図書館はまさしくそんな図書館です。深い水の底のような深い森の底のような独特の雰囲気漂う、古風な図書館です。

■小さな図書館なりに

京都市の中でも小さな図書館ですが、その特徴を活かして、きめこまやかな

サービスを、と心掛けています。目の

不自由な方へは朗読ボランティアの会「ひびき」のご協力を得ての対面朗読、子ども向けにはやはり「ひびき」の方々によるおはなし会と職員が作り上げるおたのしみ会、文庫活動を支援する団体貸出などを行っています。

また、京都市の東余熱利用センター内の施設のひとつという点から、開館当初から環境問題に関連した図書を収集、常設展示しています。

■石田の杜の本の森

その昔、醍醐石田付近は一面の深い杜で、人々はその枝々に幣を捧げました。今、同じ場所に六万冊の本の森・醍醐図書館が建っています。万葉人に詠われた杜の一葉一葉が「本」の一頁一頁に姿を変え、本の森

を形作っているわけです。

地下鉄東西線が延伸開通し、図書館から五分の場所に「石田駅」が設置され、どこからでもどこへでもアクセスが便利になりました。他の京都市立図書館が全て閉まっている第一・第三・第五火曜日も開館している醍醐図書館の存在を知っていただく絶好の機会です。

小さいけれど、古風な昔風な、図書館らしい図書館だと自負しております。緩やかに時間が流れ、万葉の昔を忍ばせる「森」の雰囲気を味わいに、ぜひ一度お出かけください。



お知らせ

○みんなで考える新しい図書館づくり

右京中央図書館（仮称）についてのアンケートを実施いたしました。おかげさまで、851通ものご意見をいただくことができました。詳細はまとも次第HP等でお知らせいたします。ありがとうございました。

○下京図書館で「読み聞かせ講座」

地域の方やボランティアの方と共に「読み聞かせ講座」を下京図書館で開催しました。今年度も各館で開催する予定ですので、ご期待ください。

○図書特別整理が終了

京都市図書館では、全ての蔵書を整理・点検する図書特別整理を昨年からの実施しています。今年は、2月7日から3月11日まで、数館ずつ順に臨時休館して行いました。期間中はご不便をおかけしましたが、今後一層サービスの向上に努めてまいります。

く文化・日本人の美しい精神が継承されている動的空間を創生していくことが求められているように思います。

昨年実施された京都検定試験には、九千八百一人が受験されたということですが、このこととうやら無関係ではなさそうです。今後、この検定試験を受験するために、京都市図書館を利用される方が増えることが予想されますので、しっかりと準備し、万全の体制で臨みたいと思います。



テーマ

「新入生・新社会人にお勧めの一冊」

●伏見区 徐 伊寧さん(学生)

『魔法使いハウルと火の悪魔』

この本は、普通とはちょっと違うおとぎ話です。昔話の定番だと成功するのは末っ子と決まっているのに、ここでは長女が、自分にかけられた呪いを解く為に、若い娘の心臓を食らう、という魔法使いの城で働いたりします。また、英雄的な存在が今までのように男だけでなく、女もなっている事でも一風変わった——— だけど面白い話です。この本は映画化されてずいぶんと話題になりましたが、原作も読んで両方とも楽しめたらいいなと私は思います。

●北区 日廻和哉さん(学生)

今年で大学を卒業する私も含めて、多くの人が新しい環境に飛び出していく季節です。人生の新しい一歩を踏み出していく、そんな今の時期におすすめしたい本が、横山泰行さんの『のび太という生き方』という本です。何をやっても駄目なのび太ですが、そんな彼の生きた中には、我々が人生を上手におくるためのヒントがたくさん詰まっています。今、ドラえもんを見ている新入生の方も、昔見ていた新社会人の方も、のび太のように生きてみませんか。

●中京区 田村由佳さん(無職)

『できるかな? あたまからつまさきまで』エリック・カール作

「できるかな?」いろいろな動物からためされ、チャレンジしてゆく子供達。友達の間でもこういうことはよくある話。一人が何かできると負けん気を出して他の子供もがんばる。失敗を繰り返してできるようになると、「じゃ、これは?」と、又新しいことのくり返し。遊びながら動物の特徴をとらえ楽しめる一冊。人間はいろいろなものをまねることができる、そういう意味では特別な生きものだと感じました。

●右京区 麻原亮子さん(無職)

この間、『いやいやえん』という本を読みました。保育園児たちの様子が生き生きと描かれていておもしろかったです。自分たちはもう1年生なんだからという気持ちで読むと、新たなおもしろさを発見できるかも……。

『あらしのよるに』シリーズもおおすすめです。ヤギさんとオオカミさんの対話がドキドキで引き込まれます。

余談ですが、大学生の娘は小3の時に読んだ『モモ』に感動して本が好きになったそうです。本とお友だちになっ

編集後記

図書館へ行く

底冷えのする京都にもようやく春の兆しを感じられてきました。ポカポカ陽気に誘われて戸外に飛び出したくなる季節の到来ですね。新しい季節を迎えて目標をたてたり、新しい環境に胸をわくわくさせている方も多いことでしょう。進学されるか方や新社会人になる方は希望と不安で胸がいっぱいのことでしょう。みなさん、準備は万端ですか。

特集では、知っているとお得な、図書館情報を紹介しました。今まで図書館に縁のなかった方もこれを機会に図書館を身近に感じてもらい、足を運んでいただけたらと思います。準備がまだの方も、万端な方もぜひお近くの図書館にお越しください。今回の特集ではまだまだお伝えできていないこともあります。今後お伝えできたらと思います。

京図ものがたり vol.9

発行
平成17年4月

編集・発行
(財)京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2
TEL 075-802-3133
<http://www.kyotocitylib.jp/>